

仙台市若林障害者福祉センター 「防犯講座」を開催しました

令和3年10月10日

仙台市若林障害者福祉センター

令和3年10月1日（金）、仙台市防犯協会連合会の本田勉事務局次長様を講師として招聘して、当センター3階研修室大にて「防犯講座」を開催し、7名の方が参加されました。

今回は、家庭で気軽にできる防犯対策について説明していただきました。空き巣や住居侵入について、狙われやすい地域として、隣人同士が無関心な街（不審者が溶け込みやすい）、路上駐車が多い街（死角をつくる）、明かりが少なく暗がりの多い街（身を隠すのが容易）などが挙げられています。普段からご近所とのコミュニケーションを取ることが大事とのこと。また、振込め詐欺、悪質商法等について、自宅にかかってきた電話がきっかけになり、詐欺の被害に遭ったり、悪質業者とトラブルになるケースが後を絶たないとお話がありました。

警察官などと装い、「あなたの銀行口座が悪用されているなどと言って、預金を守るため口座を凍結する」や「被害の有無を調べる」などを口実に暗証番号を聞き出した後で、銀行協会の職員などになりすまして、キャッシュカードや通帳を受け取りにきた者に渡してしまい被害に遭ってしまった。警察官や銀行協会職員が電話でカードの暗証番号を訪ねたりカードの回収や交換のために訪問することはありません。不安に感じたり、「詐欺かも」と思ったら、迷わず相談をしてくださいとのことでした。

アンケートでは、特に参考になったと思うこととして、絶対大丈夫ということはないことや日頃の注意が必要であり、隣近所との声掛けが大事であることが分かりました等の感想がありました。

当講座をきっかけとして地域のつながり、防犯意識が高まり、犯罪被害が減っていくことを期待します。また、今後もこのように地域の皆様の関心のある講座を開催していきたいと思います。

